

環境貢献への第一歩、始めてみませんか？

環境配慮や働き方改革は、取引先や人材採用に直結する重要な取り組みとして中小企業でも注目されています。

あなたの会社でもできる「脱炭素」始めませんか？

～テレワークや電車移動で、温室効果ガス(GHG)の削減に貢献！



参考：2025年版 中小企業白書

企業規模別脱炭素の取り組み段階(第1-2-1図)によると、気候変動やCO2削減にかかる重要性について理解している中小規模事業者は6割を超えている。

https://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/2025/chusho/b1_2_1.html



自動車と環境問題の関係

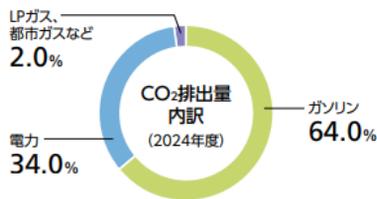
自動車が排出する排気ガスには二酸化炭素(CO₂)が含まれています。これらの物質は大気汚染の原因や地球温暖化の要因の一つとなっています。



テレワークでCO₂排出量を削減

出社やお客さま先、離れた工場や別事業所など、普段の車移動をリモートワークや公共交通機関に変えることは、CO₂排出量を削減し環境負荷を軽減します。

ご紹介:リコー日本の社内実践



2011年の震災後にテレワークの導入を開始！

- 2018年から全社展開を始め、フリーアドレス等のオフィス環境整備、ITツール導入等でテレワークを活用したくなる企業風土の醸成を進めてきました。

ガソリン使用量を抑え経費節減にも！

- 2024年度のガソリン使用量は、計画的な低燃費車への入替えやエコドライブなどを進めたことで前年度比の4.8%の減少しました。

[営業車両のガソリン使用量] 2020年 628万t → 2024年 569万t

CO₂排出予測、Excel試算ツールで確認しませんか！

<簡易試算ツールでできること>

- GHG削減への取り組みを定量的に見える化できる
- 社内啓発や取引先へのアピールに活用可能
- 無料で利用・Excel形式ですぐ使える・わかりやすい！

▶ ツールの詳細は裏面へ！

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「脱炭素社会の実現」・「はたらく」の変革

行動変化によるCO₂削減量を可視化しませんか？

移動CO₂削減量がカンタンに試算できます！



日々左記のような、①～⑥の移動を
していませんか？

テレワークに替えることで業務効率向上だけでなく、CO₂排出量削減につながります！

「入力シート」タブ

ステップ1 図1を参考に、各経路の移動手段(プルダウンメニューから選択)と距離を入力してください ※距離が不明な場合は、「推定値の算出」ボタンを押してください

移動経路	移動手段	距離(km)
A: 従業員自宅～オフィス	自家用車または社用車	9.658164574
B: オフィス～外出先X	自家用車または社用車	17.12449563
C: オフィス～外出先Y	自家用車または社用車	17.12449563
D: 外出先X～外出先Y	自家用車または社用車	17.12449563

図1

ステップ2 テレワーク導入後の実施日数、実施人数を入力してください

1週間当たりのテレワーク実施日数(日)	2
テレワーク実施人数(名)	30

ステップ3 図2を参考に、テレワーク導入後の移動パターン(プルダウンメニューから選択)を入力し、「結果表示」ボタンを押してください

テレワーク導入前の移動パターン	パターン1: 出社後、外出先X、Yへ移動する。
テレワーク導入後の移動パターン	パターン2: 出社後、外出先X、Y間を自由に移動する。
テレワーク導入後の移動パターン	パターン3: 出社後、外出しない。

結果表示ボタンをクリック！

年間CO ₂ 排出量	[導入前]: 34.9t	[導入後]: 7.7t
年間CO ₂ 削減効果	27.2t	
年間カソリン代削減	約0万円	
杉の木の年間CO ₂ 吸収換算	3092本分、野球場0.7面分	
太陽光発電パネルによる年間発電換算	20面分、コンビニの屋根0.5軒分	

*コンビニの屋根1軒分に40面分の太陽光発電パネルが設置されると想定しています

太陽光パネルによる発電量や杉の木によるCO₂吸収量で示します！

試算に必要な入力項目

ステップ1

従業員の通勤・事業所間移動(A～D)について、
現状の移動手段をプルダウンメニューから選択し※
おおよその移動距離を入力します。

※ 選択肢: 自家用車または社用車 / 鉄道 / バス

※ 移動距離が分からない場合、[推定値の算出]ボタン
を押下し、別シートでオフィスの所在地の都市類型を
選択すると推定値が代入されます。

ステップ2

テレワークを実施した場合の1週間あたりの日数、
人数を半角数字で入力します。

ステップ3

テレワークをする場合の移動方法を、パターン1～4
から選択します。

貴社の年間CO₂排出削減
予測値を試算できます！

働き方を変えて、移動CO₂削減に貢献できるソリューション

リコーの複合機 で脱炭素社会の実現に貢献します

人と地球にやさしいリコー複合機

- 消費電力を抑えた省エネ設計
- 資源の使用削減と再利用



カーボンオフセットサービス(有償・証明書発行)で環境貢献発信

不定形サイズや特殊な紙質の文書もリコーの複合機からスムーズにスキャン。データを一元管理して情報へアクセスの効率UP

ドキュメント電子化・共有
ソリューションパック



【構成例】リコー複合機(SDモデル)またはPFUSキャナ/NAS(Synology等)

テレワークに必要なインフラ環境の整備をご提案します。柔軟な働き方をご支援し、出社困難時でも業務継続を可能にします

テレワークまるごとパック ▶▶



【構成例】PC/モバイルルーター/クラウドサービス

社内データやファクスを社外から安全に確認。他拠点や取引先からの問合せなど事業所外での業務を可能にします。

社内外でデータ共有パック ▶▶



【構成例】クラウドストレージ/リコー複合機アプリケーション/社内ポータルサイト

※本チラシに記載の効果はあくまでも一例であり、全てのお客様に同様の効果を保証するものではありません。

※本チラシに記載の内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

※PDFは、Adobe PDFです。※NASは、Network Attached Storageの略称です。※会社名および製品名・ロゴマークはそれぞれ各社の商号、商標または登録商標です。

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。※その他の会社名および製品名は、それぞれ各社の商号、商標または登録商標です。

RICOH
imagine. change.

リコージャパン株式会社

東京都港区芝3-8-2 芝公園ファーストビル
お問い合わせ先: zjc_ricohscrumpackage@jp.ricoh.com

●担当者・お問い合わせ先

このチラシの記載内容は、2026年2月現在のものです。